

◇ひとり親家庭を支援  
店頭での販促ディスプレイを製造する東海製作所(中川区)が、ひとり親家庭を支援する県母子寡婦福祉連合会(北区)に120万円を寄付した。連合会は新型コロナウイルス禍で失業や収入減に苦しむひとり親家庭に、お米やカレーなどの食料や日用品を支援する。

また、中京銀行(中区)も一家族当たり2<sup>キ</sup>の米を211世帯分寄贈した。東海製作所が中京銀を引受先として発行した私募債の手数料の一部を活用した。北区の愛知母子・父子福祉センターであった贈呈式では、同製作所の丹羽雄二社長は「ひとり親家庭のお手伝いが少しでもできれば」と話した。



目録を手渡す東海製作所の丹羽社長(右)と北区の愛知母子・父子福祉センターで